



岡山後楽館高校

らっかんランチ食堂

背景

「食育推進全国大会inおかやま」の活動の一環として本校が取り組んだ高校生と地域の方が一緒になったの郷土料理「ばら寿司」づくり。きっかけは地域の方の「たまには高校生に混ぜてにぎやかなとこでゴハンを食べるのもいいなあ」の一言でした。



目的

地域の方に食堂を開放して高校生と一緒に食事をして楽しんでいただき、学校と地域との交流を図ります。ふだん一人で食事をされている方や、ゆっくり食事を楽しむことがない方にとっての「特別なひととき」になればと願っています。もちろんそこには高校生にとっても大切な「学び」があります。



生徒の変容

地域との繋がりを感じる生徒が増えてきました。また、福祉の授業に対する学習意欲が高まっています。氏族可能な地域づくりにとって欠かせない人材が育っています。

毎月1回限定 OPEN!

らっかんランチ食堂

日時: 本日 12:15 ~ 13:15
会場: 1F 食堂

メニュー(コーヒー無料サービス)

- 日替わりランチ 450円
- 日替わり丼 380円
- オムライス 380円

お待ちしております!

(ご利用方法)
事前申込み不要、1般学費並受付でご利用者
名簿のご記入をお願いいたします

地域とともに

この活動は、町内会、婦人会、公民館、社会福祉協議会の方々に支援していただき実施できています。持続可能な地域づくりを目指し、今後も活動を継続していきます。

2017年(平成29年)10月13日 金曜日 特集 22

ローカルの時代へ

「まちなかの心と教育」

「暮休みの食堂。生徒らと会話しながら一緒に食事をしても地域の人の姿があった。」「早く帰れて暮らしている感と話す感覚で、若さを思い出している。参加した地区婦人会長を務める丸山幸子さんは言う。9月15日、岡山市中心部にある市立岡山後楽館高校で開かれた「らっかんランチ食堂」だ。学校が地域との交流を進めようと参加自由で、7月から毎月1回開催している。「普段は人と話す機会が少ないから」と毎回参加している一人暮らしのお年寄りもいた。生徒側からは「昔の高校生活などの話が聞ける貴重な機会になる」との声もあった。10月8日、学校にほど近い西川緑道公園沿いで開かれた歩行者天国のイベント、西川川に生息する魚を水揚げし展示し、地域の魅力をアピールする生徒らがいた。これらの活動は、後楽館高が昨年から始めた「まちなかの心と教育」の一環だ。こうした有志で地域とかわる活動とともに、全校生徒が参加する授業がある。市役所職員らから地域の課題を学び、フィールドワークで商店街などを調査。学年が上がるごとにテーマを深め、課題の解決を研究する。

後楽館高 ランチで住民と交流

「岡山のことに関心を持つようになり、生徒らの意識は確実に変わってきている」と室貴由輝教頭は話す。政令市という大きな都市で、しかも広域から通学してくる中で、いかに地元意識を醸成するか。都市部の学校における取り組みの試金石となりそうだ。(岡山一郎)

地域のみなさんと高校生がランチを食べながら交流する「らっかんランチ食堂」=9月15日、岡山後楽館高校